

立石雅昭先生講演会のご案内

島根原発2号機の再稼働・3号機の稼働に反対し、原発のない社会をめざす日頃からの活動ご苦労様です。

9月10日(土)午後1時30分から教育会館で行います、地質学者立石雅昭新潟大学名誉教授の講演会のご案内をいたします。

原発ゼロをめざす島根の会は、日本共産党島根県議団・鳥取県議団・松江市議団とともに、2月につづき7月にも立石雅昭先生を招き、原発周辺の海岸線で広範囲に見られる、洗濯岩に代表される波食棚等の調査を行いました。

この調査により明らかになったことを広く皆さまに知っていただこうと、立石雅昭先生講演会実行委員会をこの度結成し、先生をお呼びすることにしました。

波食棚はかつて水面下で形成されたものが、6千年前以降に起きた地震によって隆起して、いまの地形になったものです。そして、そこに付着している海棲生物の遺骸化石を調べることで地震の発生年代を調べることができます。

これまで、このような海食棚は海面低下によって形成されたと説明されることが多かったのですが、海面からの高さや遺骸化石があることなど、この最新の知見を当てはめると非常によく説明できるとのことです。

この調査をもとに、立石先生は「ここ数千年から数万年の間に、島根半島が数回隆起した痕跡が見受けられる。この、地震に伴って隆起したという事象について、中国電力は一切の調査・解析を行っていない」「中国電力は歴史的に活断層の過小評価を繰り返してきた。この間、宍道断層の評価を何度も延長してきたが、その科学的根拠は示されていない」と厳しく指摘されています。

地震の発生間隔や規模、原発敷地の地形に与える影響など最新の知見を先生の講演から学びたいと思います。

原発の稼働・再稼働をストップさせる運動に大いに役立つ新知見をうかがうことが出来るものと思います。立石雅昭先生講演会にぜひご参加いただきますようご案内いたします。

*詳細は別添のチラシをご覧ください。

2016年8月

立石雅昭先生講演会実行委員会

連絡先：080-6333-8388(石橋)